

結いの里に残る、学校の記憶。
「ふたばのがっこう」 11月1日より
葛尾村「あぜりあ」で開催

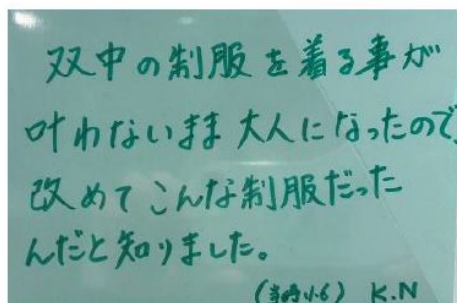
ひなた工房福島双葉（双葉郡双葉町）は、2026年11/1（日）～29（日）、福島県双葉郡葛尾村交流館「あぜりあ」にて展示企画「おもいでのがっこう ふたば制服ギャラリー」を開催します。双葉郡内にある約20校の中学校・高校の制服を募集し、ぬいぐるみサイズの制服[ぬい服]サイズにリメイクし展示します。本展示では、提供していただいた皆様の記憶やメッセージを紹介します。



川内小中学園・男子制服の“ぬい服”



提供者のエピソードや写真も展示



来場者からメッセージを展示

開催の背景

葛尾村は、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故により全村避難を経験した村です。その後、住民の帰還とともに地域の暮らしや学校も再び歩み始めました。葛尾村では、震災前の2010年時点で小学校66人、中学校47人、合わせて113人の児童生徒が学んでいました。現在は小学校17人、中学校6人となっています。

葛尾村は、「つながる結いの里 かつらお」という言葉に象徴されるように、人と人とのつながりを大切にしてきた「結い」の精神が息づく地域です。

「ふたばのがっこう」は、学校に刻まれた記憶を通して、地域を支えてきた人々のつながりや、未来へ受け継がれていく学びの姿を見つめる展示です。

開催概要

展示名	おもいでのがっこう ふたば制服ギャラリー
期間	2026年11月1日（日）～29日（日）
会場	葛尾村復興交流館「あぜりあ」（〒979-1602 福島県双葉郡葛尾村落合落合20-1）
主催	ひなた工房 福島双葉（フレックスジャパン株式会社 長野県千曲市）

主催者Message

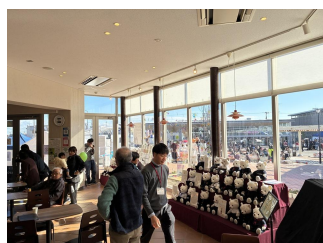
ひなた工房は2023年、福島県双葉町にリメイクやお直しを中心とした工房を構えました。大切な服に込められた思い出とともに、制服や着物など、暮らしの中で受け継がれてきた品々に新たな形を与え、その先の時間へとつないでいく活動を続けています。

東日本大震災から年月が経ち、双葉地域では道路や建物などの復興が着実に進んでいます。その一方で、地域の風景や学校で過ごした日々の記憶、人と人とのつながりなど、目には見えない大切なものを未来へ残していくことも、これからの復興に欠かせない取り組みではないかと私たちは考えています。

「ふたばのがっこう」は、そうした思いから生まれました。これまで双葉郡内で展示を重ね、多くの方々にご覧いただくなかで、学校や地域の記憶を「おもいで」という前向きな視点から見つめていただく方が多かったように思います。ハードの復興が進む今だからこそ、私たちは「ソフトの復興」に目を向けたいと考えています。

「ふたばのがっこう」は、単に過去を振り返る展示ではなく「おもいで」を通して双葉地域の未来について考え、記憶やつながりを次の世代へ受け継いでいく、小さなきっかけになればと願っています。

過去の展示状況 | 葛尾村での開催は9会場目、双葉郡8町村のうち7町村目の開催です



双葉町|だるま市
1/10.11



双葉町|F-BICC
1/16~3/29



双葉町|災害伝承館
4/1~5/10



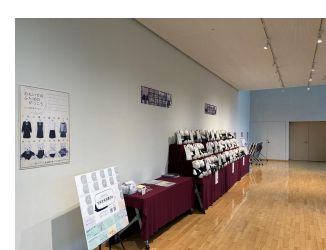
双葉町|CANVAS
5/18~6/28



広野町|ふたば未来学園
7/1~8/4



大熊町|中間貯蔵情報センター
8/6~8/31



富岡町|文化交流センター
9/2~9/27



川内村|YOTASHI
10/2~10/25

ふたばのがっこう 特設サイト

<https://restitch.jp/blogs/news/futabanogakko>



<本リリースに関するお問い合わせ先>

フレックスジャパン(株) ひなた工房事業部 担当：唐木澤（からきさわ）

TEL : 026-261-3000 / MAIL: karakisawa@flexjapan.co.jp